

公益社団法人インテリア産業協会

令和5年度事業報告

(2023年4月1日～2024年3月31日)

I 基本方針関連（概要）

年度当初に掲げた基本方針関連の事業の概要については次のとおりです。

1. 協会活動全般

協会の運営に関してはグループウェア等各種システムの導入により、スピーディーな情報共有と事業の見える化を推進し、ガバナンスを一層強化しました。

公益目的事業は、事業ごとの役割を意識した企画と運営を心がけ、効率的な実施に努めました。各事業は創立40周年の冠をつけて実施し、協会の歴史やインテリア産業界で果たしてきた役割について一般生活者に周知しました。

また、公益目的事業の安定的運営を図るため、収益事業実施の変更認定を受けました。

2. 資格認定試験・資格登録

インテリアコーディネーター（以下、I C）資格認定試験はC B T方式をスムーズに導入する事が出来ました。資格認定試験のC B T化により自然災害等による事業のリスクを大幅に軽減するとともに受験者の利便性を高める事が可能となるため、キッチンスペシャリスト（以下、K S）資格認定試験の次年度C B T化に向けての準備にも着手しました。

I C・K S読本は時代の変化を意識したコンテンツの提供に心掛けました。

3. 能力向上・育成関連

一般生活者が気軽にインテリアを学べる場である図書館セミナーや、若年層の能力育成として高校の出前授業等の開催に注力しました。また、好評のインテリア小物作成のワークショップLet's!インテリアを全国に水平展開するため、実施マニュアルの作成等イベントの標準化にも取り組みました。

育成事業の根幹をなすI C並びにK Sのハンドブックについては、改訂に向けて各委員会や有識者の会議により業界内の意見を聴取しました。

4. 情報・広報活動関連

各公益目的事業や支部の講座・セミナーについて、公式InstagramやFacebookといったSNSによる配信を強化し、広く一般生活者に向けた情報提供を行いました。会員に対しては、主に連絡担当者に対して協会事業の案内や省庁等からの周知事項をメールで配信しました。

5. その他

前年度に導入した会計システムを本格稼働、銀行口座を本部に集中、規程類の整備を推進するなど、ガバナンスの強化に努めました。支部事業は、プロダクトセミナー等を開催する事により、会員企業が積極的に事業に参加できる環境整備に努めました。

II 個別事業（内閣府に認定を受けている事業ア～キ）

ア. インテリアコーディネーター等を目指す者への教育、情報提供

1. IC・KSハンドブックの書籍頒布

ICまたはKS資格認定試験を受けようとする者、インテリアについて学ぼうとする者などに対するの書籍頒布は、「インテリアコーディネーターハンドブック統合版 上・下」12刷版（上2600冊、下2400冊）の印刷を行い、頒布に供しました。また、ハンドブックの改訂検討については、発売元、会員、有識者等から意見聴取を行うための会議を実施し、昨年度に引き続き具体化に向けた取り組みを進めました。

2. 資格取得の学習等を支援する通信教育事業

インテリアに関する知識を学ぼうとする者やICまたはKS資格認定試験の受験を目指す者等に対して、通信教育講座を実施しました。また、次年度の業務委託先変更に対応するため、教材の見直しや受講・学習管理等に必要なシステムの開発を行いました。

今年度の実施結果は次のとおりです。

- ① IC受験講座（総合／一次／実技）：のべ253人（前年度288人）が受講
- ② KS受験講座（総合／学科／実技）：のべ65人（前年度94人）が受講

イ. インテリアコーディネーター等の認定試験

1. IC資格認定試験

第41回IC資格認定試験を次のとおり実施しました。

- ① 一次試験 [学科：テストセンターでのCBT方式]

試験期間：2023年9月15日（金）～10月15日（日）（申込期間7月18日～8月31日）

試験地：全国47都道府県

- ② 二次試験 [プレゼンテーション・論文：試験会場での筆記方式]

試験日：2023年12月3日（日）全国一斉実施（申込期間7月18日～8月31日）

試験地：全国9地域（北海道、東北、関東甲信越、中部、関西、中国、四国、九州、沖縄）

合格者数等の結果は次のとおりです。

■令和5年度（第41回）一次試験・二次試験別申込者・受験者・合格者の概要

【一次試験】		【二次試験】	
受験申込者数	8,674	二次受験対象者数 ^(注1)	4,312
受験者数	7,746	受験者数 ^(注2)	3,577
一次合格者数	2,713	二次合格者数	2,034
一次合格率	35.0%	二次合格率	56.9%

注1：二次受験対象者数（4,312）は、基本タイプ一次合格者数（2,525）＋二次試験タイプ申込者数（1,787）

注2：二次受験者数（3,577）は、基本タイプ二次受験者数（2,241）＋二次試験タイプ二次受験者数（1,336）

■合格者の推移

実施年度 [実施回]	資格取得対象 受験者数 ^(注3)	合格者数 (二次合格者数)	合格 率
令和5年度 [第41回]	8,156	2,034	24.9%
令和4年度 [第40回]	8,943	2,193	24.5%
令和3年度 [第39回]	9,935	2,334	23.5%
令和2年度 [第38回]	8,468	2,045	24.1%
令和元年度 [第37回]	7,561	1,896	25.1%

注3：一次・二次の試験を通じて、当該年度に資格取得まで目指した受験者数

2. K S 資格認定試験

第36回K S 資格認定試験を次のとおり実施しました。

試験日：2023年12月3日（日）（I C二次試験と同日、同地域）

試験地：全国9地域（北海道、東北、関東甲信越、中部、関西、中国、四国、九州、沖縄）

合格者数等の結果は次のとおりです。

■合格者の推移

実施年度 [実施回]	申 込 者 数			資格取得対象 受験者数 ^(注)	合格者数	合格率
	総 合	学科/実技	総 数			
令和5年度 [第36回]	419	214	633	494	165	33.4%
令和4年度 [第35回]	485	225	710	566	189	33.4%
令和3年度 [第34回]	547	235	782	608	197	32.4%
令和2年度 [第33回]	554	250	804	614	175	28.5%
令和元年度 [第32回]	571	291	862	703	222	31.6%

注：学科および実技の試験を通じて、当該年度に資格取得まで目指した受験者数（総合タイプの申込者のうち、実技および学科の両方を欠席した者を除く。）

なお、学科試験は、複数日程による分散実施を可能にするC B T方式として、令和6年度の実施に向けて準備しました。

ウ. インテリアコーディネーター等の登録

1. 資格登録

令和5年度は、I C資格認定試験合格者2,034名の内2,020名、K S資格認定試験合格者165名の内162名の資格登録申請を受け付け、資格証（初回登録年月日2024年4月1日付）を交付しました。

2. 登録更新

令和5年度I C・K S資格登録更新は、対象者約17,200名に対し2024年1月25日を申請期日として申請受付を実施しました。期間内に手続きが完了した者には、有効期限を延長した資格証（カード）を2024年3月16日に簡易書留で一斉に郵送しました。

年度末における登録資格者（有効資格者）数は次のとおりです。

- ・ I C資格登録者数： 60,474名
- ・ K S資格登録者数： 7,755名

3. IC・KS読本

『IC・KS読本2024』は、法改正内容を中心に内容の最新化を行うとともに、新型コロナウイルス感染症によるインテリアメーカー各社の抗ウイルス・抗菌製品動向、SDGsを背景とするインテリアメーカー各社のサステナブルを意識した製品動向について情報を更新し、新規登録者および更新対象者全員に提供しました。

エ. インテリアコーディネーター等の能力向上のための講座等の開催

一般生活者並びにIC及びKSの有資格者を対象に、インテリア等に関する基礎知識の習得、ICやKSの職業人としての能力向上を目指した研修事業として、全国各地で講座、セミナーを71件開催しました。

- ①インテリアに関するスキルアップを目的としたインテリア実務講座等を31件開催しました。
- ②一般生活者参加型インテリア小物作成講座「Let's! インテリア」を22件開催しました。
- ③一般生活者の暮らしに役立つ情報をコンテンツにしたインテリア生活者講座を18件開催しました。
- ④上記の内、地域の公共図書館との協力による図書館セミナーは16件開催しました。
- ⑤上記の内、高等学校の生徒を対象としたインテリア関係の講座「出前授業」は14件開催しました。

オ. インテリアコーディネーター等が実施する調査・研究に対する支援

IC・KS等が行う調査・研究への支援として、昨年同様、キッチン、インテリアに関するテーマ公募を行い、1件の調査・研究に対して活動資金を助成しました。

- ①応募テーマ数 1件（キッチン関係：0件、インテリア関係：1件）
- ②採択テーマ数 1件（キッチン関係：0件、インテリア関係：1件）
- ③採択テーマ名 「壁紙から見た色彩心理に基づく快適で豊かな住まいの創造」

カ. インテリアコーディネーター等を目指す者及びインテリアコーディネーター等の能力向上のためのコンテストの開催

1. 住まいのインテリアコーディネーションコンテスト

【一般部門】

令和5年度も経済産業大臣賞、経済産業省製造産業局長賞の下付を受けて、次のとおり実施しました。

- ①募集期間 2023年7月14日～10月16日
- ②募集内容
 - ◇事例分野 新築部門、リフォーム部門、スタイリング部門（居室や部分的なシーン）にてインテリア事例（提案）を募集しました。
 - ◇課題分野 課題に基づいたコーディネート提案を募集しました。
 - A部門：「多目的なリビングのインテリア空間」
 - B部門：「サステナブルなインテリア空間」（B部門は施工事例も可）
- ③応募総数 258作品
（新築部門14、リフォーム部門18、スタイリング部門21、A部門172、B部門33）

- ④審査結果 経済産業大臣賞 1 作品、製造産業局長賞 1 作品、協会会長賞 2 作品、部門賞 5 作品、優秀賞 5 作品、特別審査員 2 作品（合計 16 作品）

■ [事例分野] 入賞一覧

賞名	部門	タイトル	受賞者(代表者)	所属(勤務先・学校名)	都道府県
経済産業大臣賞	新築	Gradation house	坂本 貴仁	榊竹中工務店	大阪府
協会会長賞	スタイリング	表と裏	甘利 歩	榊住宅資材センター	埼玉県
部門最優秀賞	新築	GALLERY	吉田 華子	CURIOUS design workers	愛知県
	リフォーム	コア・ステーション・サニタリー	星川 知加子 外2名	榊OKUTA	埼玉県
	スタイリング	Timeless Japandi	北田 知子 外1名	榊コスモスモア リニューアルPM3課 コーディネーターチーム	東京都
部門優秀賞	新築	生き生きと「時」を楽しむ家	REIKO	ダルクデコ榊	東京都
	リフォーム	島の周りの豊かな暮らし	粟屋 大紀	粟屋大紀一級建築士事務所	大阪府
	スタイリング	つなぐ、アウトドアリビング	鈴木 恵理子	ルーナ クレシエンテ	長野県

■ [課題分野] 入賞一覧

賞名	部門	タイトル	受賞者(代表者)	所属(勤務先・学校名)	都道府県
製造産業局長賞	A	居職のリビング	本木 光	西日本鉄道(株)	福岡県
協会会長賞	B	土のドームハウス	有賀 菜月	専門学校東京テクニカルカレッジ	東京都
部門最優秀賞	A	playful Living	田中 愛子	神戸電子専門学校	兵庫県
	B	「水のカーテン」	吉村 成	スペースデザインカレッジ 京都校	広島県
部門優秀賞	A	夜空に浮かぶ星を探すように	松山 美耶	大阪工業大学大学院	大阪府
	B	めぐる絵本館	朝生 七海	スペースデザインカレッジ 大阪校	大阪府
特別審査員賞	A	ArtiCultureGifu	尾崎 萌々子	スペースデザインカレッジ 京都校	京都府
	B	ヨリアイアパトメント	中村 美結	スペースデザインカレッジ 大阪校	大阪府

【高校生部門】

- ①募集期間 2023年6月1日～7月20日
 ②募集内容 テーマを「新しい生活様式のリビング空間」とし、課題に基づいたインテリア空間のコーディネート提案を募集しました。
 ③応募総数 158 作品
 ④審査結果 協会会長賞 1 作品、部門賞 1 作品、優秀賞 2 作品、特別賞 1 作品、奨励賞 5 作品（合計 10 作品）

■ [高校生部門] 入賞一覧

賞名	タイトル	受賞者	学校名(学科)	学年
協会 会長賞	ミドリ+食	高野 舞	静岡県立浜松工業高等学校(建築科)	3
高校生部門賞	AIに支配された快適空間	中森 優菜	名古屋市立工芸高等学校	3
優秀賞	Jupiter	宮越 妃海	愛知県立一宮工科高等学校(建築デザイン科)	1
	私はわたし	吉崎 瑞月	徳山工業高等専門学校(土木建築工学科)	3
特別賞	魚で旅する家	山口 新太郎	名古屋市立工芸高等学校	3
奨励賞	BAMBOO～竹との共存～	荻野 希実	北海道帯広工業高等学校(建築科)	3
	the outside world	蔵座 天寧	熊本県立球磨工業高等学校	2
	みんなが1人になれるリビング	原先 藍良	熊本県立球磨工業高等学校	2
	人生のサービスエリア	菅野 葵	福島成蹊高等学校	2
	木と暮らす	河野 祥子	熊本県立球磨工業高等学校	3

2. 知ろう、学ぼうアイデアコンテスト 2023

- ①募集期間 2023年12月22日～2024年2月5日
 ②募集内容 テーマ『みんなで楽しむキッチン・ダイニング』に沿った家具、空間デザイン、インテリアグッズなどのインテリアアイデアをイラスト、絵画、デザインにして、自由に描いて募集しました。
 ③応募総数 257 作品（小学生 9、中学生 19、高校生 229）
 ④審査結果 最優秀企画賞 1 作品、優秀企画賞 3 作品、特別賞 1 作品（合計 5 作品）

■ [知ろう、学ぼうインテリアアイデア募集 2024] 入賞一覧

賞名	部門	タイトル	受賞者	学校名	学年
最優秀企画賞	高校生	「いただきます」のための羅針盤	植田 太陽	静岡県立天竜高等学校	3
優秀企画賞	高校生	まあるくおさまる Cake Table	鈴木 彩心	浜松市立高等学校	1
	中学生	Bloom Story	園田 結	—	3
	小学生	食材といっしょにいただきます	松田 杏梨	—	5
特別賞	小学生	フルーツハウス	松下 泰士	札幌市立厚別東小学校	2

3. キッチン空間アイデアコンテスト

- ①募集期間 2023年8月1日～9月29日
- ②募集内容 コンセプト「こんな人に、こんなキッチン伝えたい」
 A テーマ部門「団らん・優しいキッチン空間」
 B テーマ部門「暮らしが変わるキッチン空間」（実際に施工したもの。新築物件も可）
 各部門について、キッチン空間に関するアイデアを含めた作品を募集しました。
- ③応募総数 150 作品（A テーマ部門 129、B テーマ部門 21）
- ④審査結果 協会会長賞 1 作品、部門最優秀賞 2 作品、部門優秀賞 6 作品、
 奨励賞 15 作品（合計 24 作品）

■ [キッチン空間アイデアコンテスト] 入賞一覧

賞名	部門	タイトル	受賞者(代表者)	所属(勤務先・学校名)	都道府県
協会会長賞	A	いのちをつなぐ、憩いのキッチン	山口 英理子 外1名	フリーランス	東京都
部門最優秀賞	A	Food Cycle	菊地 悠	工学院大学大学院	埼玉県
	B	omanekitchen	大竹 信義 外2名	㈱三栄建築設計	千葉県
部門優秀賞	A	Playground	宇戸 綾花 外1名	愛知淑徳大学	愛知県
	A	まんまるまめまめキッチン	中本 悠里 外1名	同志社女子大学	京都府
	A	記憶を保存するキッチン	天野 遥馨	スペースデザインカレッジ大阪校・関西学院大学	大阪府
	A	全国繋がりキッチン列車	古賀 萌香	同志社女子大学	大阪府
	B	フレキシブルを楽しむキッチン	山本 ちなつ	GRJ architects㈱	京都府
	B	樹齢200年の無垢板キッチン	柳本 重明	Y's建築工房 一級建築士事務所	大阪府
奨励賞	A	お花見キッチン	小倉 万穂 外1名	茨城大学	茨城県
	A	フェーズフリーな避難所キッチン	豊田 みのり 外1名	茨城大学	茨城県
	A	医食同源キッチン	高橋 七彩	山脇美術専門学校	埼玉県
	A	高架下ダイニングキッチン	中村 綾	東京理科大学	千葉県
	A	地域をつなぐみんなのおやつ工房	高橋 麻理	㈱日建設計・合同会社SaGAS	東京都
	A	釜土湯	阿部 薫	スペースデザインカレッジ東京校	神奈川県
	A	変化する自然とキッチン	渡辺 紗帆	愛知工業大学	愛知県
	A	回転壁とキッチンをもつ住まい	山田 寛	一級建築士事務所 LoHA	福井県
	A	街の中のキッチンボックス	渡嘉敷 直央 外1名	京都工芸繊維大学大学院	京都府
	A	おもちゃえりキッチン	玉井 町子	近畿大学	大阪府
	B	会話が隠し味の二列型キッチン	津籠 和歌子 外2名	㈱OKUTA	埼玉県
	B	「川の字」回遊キッチン	東郷 由紀 外3名	㈱OKUTA	埼玉県
	B	暮らしのコアとしてのキッチン	黒川 智之	㈱黒川智之建築設計事務所	東京都
	B	森とつながる6mのキッチン	島田 雄太	studio sima	神奈川県
B	DEWk's世帯の家事短キッチン	黒田 秀之	永和住宅㈱	福井県	

キ. 消費者に対するインテリアに関する普及啓発活動及び展示会の開催

1. 絵画コンテスト

我が国の将来を担う子どもやその家族に、生活の中にインテリアを取り入れる楽しさを知ってもらい、併せてI Cの職能を理解してもらう機会を創出する、小学生を応募対象とした絵画コンテストを実施しました。令和5年度は、東北、沖縄の2つの支部で開催しました。

- ①第21回こんな部屋いいな絵画コンテスト（東北支部／宮城県内）応募総数 1,617 点
- ②あったらいいな、こんな家 第8回「こども絵画コンクール」（沖縄支部／沖縄県内）
 応募総数 391 点

2. 展示会等の催し

一般生活者を対象にした、インテリアフェスティバル（展示会）を次のとおり実施しました。

(1) 「GOOD LIFE フェア 2023」

主 催：朝日新聞社

会 場：東京ビッグサイト 東2・3ホール

会 期：2023年9月1日～9月3日

内 容：40周年記念「インテリア産業近代史とインテリア産業協会」年表の壁面展示と1/12スケールの模型を使ったインテリアコーディネートのワークショップを実施した。
（3日間合計14回実施。各回8～10名。ICによる職能説明の講義とアドバイス）

来場数：35,371人

出展数：425社・団体（473ブース）

(2) 「住まいのインテリアコーディネーションコンテスト 高校生部門入賞作品展示」

会 場：新宿パークタワー 2階アトリウムオープンデッキ

会 期：2023年11月2日～11月11日

内 容：隣接スペースのJID主催「次世代を担うデザイン展」にあわせ、当協会が実施するコンテストの高校生部門入賞作品を展示。また、40周年記念「インテリア産業近代史とインテリア産業協会」年表の壁面展示を行った。

(3) 「JAPANTEX2023」

主 催：（一社）日本インテリア協会、（一社）日本能率協会

会 場：東京ビッグサイト 東3ホール

会 期：2023年11月15日～11月17日

内 容：NIFとの共同企画 WINDOWS PARADISE（ICと窓装飾プランナーの設え）の展示、40周年記念「インテリア産業近代史とインテリア産業協会」年表の壁面展示。

来場数：26,011人（建築+インテリア WEEK<内JAPANTEX 8,583人>）

出展数：195社（489ブース）

(4) 「エコプロ 2023」

主 催：（一社）サステナブル経営推進機構、日本経済新聞社

会 場：東京ビッグサイト 東4・5・6ホール

会 期：2023年12月6日～12月8日

内 容：ICによるワークショップ（ミニチュア模型ルームのコーディネート、廃番材料などを使ったインテリア小物作成）、「住まいのインテリアコーディネーションコンテスト 2023 高校生部門」入賞作品展示、40周年記念「インテリア産業近代史とインテリア産業協会」年表の展示を行った。

来場数：66,826人（SDGs Week EXPO 2023 合計）

出展数：195社（489ブース）

(5) 「新しい日本の暮らしの提案～Japandi Blooming～」

会 場：日本橋三越本店 本館1階 ステージ

会 期：2024年1月10日～1月23日

内 容：「日本のものづくり」とIC虎岩さおり氏による「インテリアコーディネーターが提案する空間づくり」のコラボレーション展示。

協 力：(株)カンディハウス、(株)サンゲツ、(株)川島織物セルコン、トソー(株)、(株)プレーベル 他

(6) 「IFFT2024」

主 催：(一社)日本家具産業振興会、日本経済新聞社

開催場所：東京ビッグサイト 東7ホール

会 期：2024年3月12日～3月15日

名 称：レジデンスインテリアコーディネートシーン

展示内容：①『Quiet Luxury (クワイエット・ラグジュアリー)』をテーマとした、目立つことよりも本質的な価値と品質に重きを置き、心地よさと落ち着きを感じさせるレジデンス空間のシーン展示

②協会事業の紹介。(令和5年度コンテスト入賞作品パネル展示等)

③協会40周年のあゆみ(年表を展示)

来場数：23,141人

出展数：73社(200小間)

3. 学校への教材頒布

(1)中学生向けインテリア普及教材の作成頒布

中学生を対象とした中学校技術・家庭科副読本「快適な住空間をつくるインテリアの世界」を印刷し、申込みがあった全国の中学校に対して133,426部を無償頒布し、インテリアの普及を図りました。

(2)高校生向けインテリア普及教材の作成頒布

高校生を対象とした高等学校家庭科(住生活)資料「考えてみよう!住空間を彩るインテリア」を印刷し、申込みがあった全国の高校に対して130,960部を無償頒布し、インテリアの普及を図りました。

III 協会の組織運営

1. 協会本部に設置する委員会組織体制と主な活動内容

外部有識者や協会会員企業により委員会を構成し、協会各事業の実施・運営方針等を審議するなどの活動を行い、各事業を推進しました。具体的には次のとおりです。

(1) 運営委員会

本委員会では、次年度活動方針、同年度予算案等の審議を行い、事業計画・収支予算作成に反映するなど事業運営を推進しました。また、協会事業再編（収益事業実施）に関するディスカッションも行いました。

開催実績：9/8、1/16、3/19

委員名	所属	委員名	所属
市川 祐次※	(公社)インテリア産業協会	小林 正樹	クリナップ(株)
伊藤 道代	東リ(株)	田中 順貴	三井ホーム(株)
加々美 文彰	(株)町田ひろ子アカデミー	玉留 勇輝	三井デザインテック(株)
加藤 直樹	(株)天童木工	藤居 久治	コイズミ照明(株)

(2) 情報・広報委員会

本委員会では、ウェブサイトにおける40周年記念誌のデジタルブック形式での公開について検討しました。

開催実績：9/6（対面およびオンライン開催）

委員名	所属	委員名	所属
青木 圭輔	(株)アルフレックスジャパン	神谷 悟	トーソー(株)
砂金 裕	(株)建築資料研究社（日建学院）	鈴木 ゆう子	東京ガスコミュニケーションズ(株)
加藤 勝幸	三井デザインテック(株)	藤居 久治※	コイズミ照明(株)

(3) 資格制度委員会

本委員会では、KS学科試験のCBT方式への変更資格制度、資格者の能力の維持・向上のため配布する「IC・KS読本2024」の内容、ICハンドブックの位置づけについて検討しました。

開催実績：7/31（対面およびオンライン開催）

委員名	所属	委員名	所属
上野 義雪	上野研究室	田中 順貴※	三井ホーム(株)
菅原 守	(株)スミノエ	富田 一哉	(株)サンゲツ
高橋 周司	パナソニックハウジングソリューションズ(株)	西田 恭子	西田設計住生活研究所

(4) インテリア普及啓発委員会

本委員会では、展示会事業や「住まいのインテリアコーディネーションコンテスト」の方針の立案や実施推進を行うほか、インテリア関係の調査研究助成のテーマ審査などを行いました。

開催実績：6/5、6/30、7/26、9/8、11/7、3/5、3/22（オンライン開催および書面審議）

委員名	所属	委員名	所属
岡島 秀樹	(株)東急Re・デザイン	玉留 勇輝※	三井デザインテック(株)
左合 正樹	トキワ産業(株)	外山 晴康	カリモク家具(株)
佐藤 裕文	(株)ユーエー	中村 英彦	(株)ニチベイ

(5) K S 資格普及啓発委員会

本委員会では、展示会事業、「キッチン空間アイデアコンテスト」の方針の立案や、K S 資格試験の受験者増加に向けた改善策、K S ハンドブックの改訂方針などについて検討しました。

開催実績：5/23、7/31、10/23、1/31（オンライン開催および書面審議）

委員名	所属	委員名	所属
小林 正樹※	クリナップ(株)	原田 茂	TOTO(株)
仙石 克幸	パナソニックハウジングソリューションズ(株)	半田 陽香	(株)LIXIL
中島 宏文	タカラスタンダード(株)	村山 仁彦	(株)松岡製作所

(6) 講座事業委員会

本委員会では、支部で企画された講座、セミナー実施の可否判断や、協会として実施すべき講座カリキュラムおよび通信教育事業に関する検討を行いました。

開催実績：6/8、7/4、8/25、9/26、11/2、12/1、1/26、3/18、3/28（オンライン開催および書面審議）

委員名	所属	委員名	所属
飯田 公久	アトラスデザインスタジオ	濱田 淳	ADOPTキッチンワークス
加々美 文彰※	(株)町田ひろ子アカデミー	原 吉弘	住友林業(株)住宅事業本部
金堀 健一	(株)住宅デザイン研究所	—	—

(1)~(6)の表内※印は委員長

2. 会員活動

(1) 協会への入会促進活動

協会ウェブサイト等により定期的に広報を行うとともに、本部・支部の各種事業イベントを通じて、幅広く関連企業等に入会を働きかけました。年度末時点の会員数は次のとおりです。

◇年度末会員数：正会員数は128（前年度135）賛助会員は16（前年度17）

(2) 「会報」の定期的な発行

会報の年4回の定期的発行を行い、主に会員に協会の事業活動をタイムリーかつ的確に情報提供しました。

3. 広報活動

I C ・ K S 資格の受験申込、C B T方式導入、各公益目的事業や支部の講座・セミナーについて、公式 Instagram や Facebook といった SNS による配信を強化しました。協会40周年記念誌はデジタルブック形式で協会ウェブサイト上に公開しました。インテリア基礎講座「I Cチャンネル」の動画は最終回（第10回）まで協会ウェブサイト上で公開し、広く一般生活者に向けた情報提供を行いました。

以上